

ＤＸで新しい市政参画のカタチ

急に寒さが厳しくなってきましたね。皆さま、暖かくしてお過ごしください。

さて、このたび、市民参加型オンラインプラットフォーム「ミライト」がスタートしました。いわば「八幡市による、八幡市民のためのオンライン掲示板」です。市政の様々なテーマについて、いつでも、どこからでも意見を書き込めるほか、「いいね！」で共感を伝えたり、投票やアンケートに参加したりすることもできます。

私は、市民の皆さまの「生の声」を、より多く、よりタイムリーに市政へ反映していきたいと考えています。これまでも各地域でのタウンミーティングや、まちづくりに関するワークショップなどを開催してきましたが、会場に足を運ぶことが難しい方もおられます。「ミライト」は、そうした時間や場所の制約を超えて、誰もが気軽に市政に参加できる新しい仕組みです。

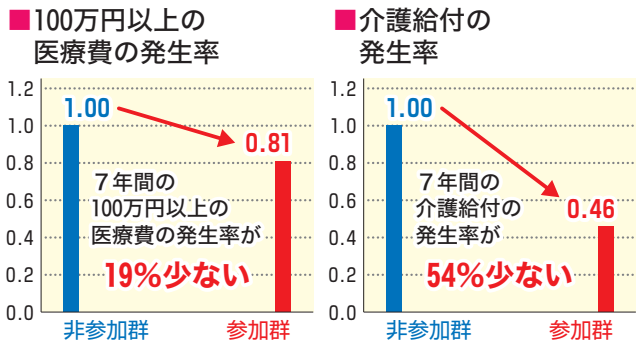
より多くの声が集まり、交わることが、これからの八幡のまちづくりの力になります。是非「ミライト」で、皆さんの声を聞かせてください！よろしくお願いします。

やわた未来いきいき健幸プロジェクト

医療費・介護給付費の抑制効果額の分析結果

やわた未来いきいき健幸プロジェクト（以下、みらいき）は健康づくりに取り組むことで、医療費・介護給付費を抑制し、個人の負担を軽減することを目標の一つにしています。そこで最新の効果検証の状況についてお知らせします。

医療費・介護給付費発生のリスクを低減



※比例ハザード比＝100万円以上の医療費および介護給付の発生する危険度を相対的に表した値（1を超える場合はリスクが高く、1を下回る場合はリスクが低いことを示す）。
※対象者＝左図は平成30年に100万円以上の医療費、右図は介護給付が発生していない平成30年～令和6年の国保・後期高齢者医療制度の加入者。
出典＝京都府八幡市ＳＷＣ－ＡＩによるデータ分析業務報告書（〈株〉つくばウエルネスリサーチ）から作図

令和6年度の医療費・介護給付費について、令和元年度～令和5年度に事業に参加した人と非参加群（※1）を比較したところ、1年間で約4億4400万円の抑制効果が確認できました。

また、平成30年度～令和6年度の7年間の医療費・介護給付費の状況を確認すると、100万円以上の高額な医療費の発生率は19%、介護給付の発生率は54%低減していることが分かりました。

このような効果が確認できたのも、皆さんの頑張りのおかげです！　これからも楽しく運動が続けられる取り組みを行っていきます。

まだみらいきに参加していない人も歩く習慣を身につけ、健幸な生活を送ってみませんか。

※1＝事業参加者群と年齢構成、性別（男女）の割合、事業参加前年度の医療・介護に要した費用等の諸条件が同じになるように設定。

▶事業の参加者募集中
詳細は、右記の二次元コードからご確認ください。

問健康推進課（☎983-1116）

石清水八幡宮駅周辺の未来を、一緒につくろう！



ワークショップ「よりみちサロン」参加者募集

「駅前でピクニックしたい」「得意なことを共有したい」。そんなあなたの〝やってみたい〟をかたちにするワークショップを開催します。石清水八幡宮駅周辺グランドデザインで、みんなと一緒に描いた駅周辺の未来を実際に試す時がきました。

あなたの「好きな風景」や「やってみたいこと」を持ち寄り、みんなでアイデアを出し合いながら、一つひとつかたちにしてみませんか。

アイデアを企画にし、令和9年5月下旬には社会実験として石清水八幡宮駅前とその周辺で実践します！　駅前の新しい風景を、一緒につくっていきましょう！

お子さま連れも大歓迎。途中回からの参加もＯＫです。ぜひお気軽にご参加ください。

■**各回の時間**　午後6時30分～8時30分
■**場所**　山柴公民館
■**募集人数**　各40人程度
■**申込方法**　右記二次元コード、もしくはまちづくり推進課まで。

■**開催日程・内容**　※各回のテーマは変更となる可能性があります。

	日　程	テーマ	内　容
第1回	令和9年1月8日（金）	好きな風景・シーンを持ち寄ろう	日常の好きな風景の写真を持ち寄り、「なぜ好きなのか」を深掘り。こんな駅前にしたい！という風景・シーンをみんなで共有します。
第2回	2月5日（金）	やってみたいことを描こう	社会実験でどんなことをやってみたいか、アイデアを出し合い、具体的なイメージを膨らませます。
第3回	2月19日（金）	アイデアを企画にしよう	みんなのアイデアをさらに深掘り。活動内容や対象・必要なもの・協力者など、実現に向けた一歩を踏み出します。
第4回	3月12日（金）	社会実験の準備をしよう	当日の場所の使い方や役割分担を考え、どんな空間づくりにするか、みんなで準備を進めます。

問まちづくり推進課（☎983-3360、ＦＡＸ983-1143）

第9次行財政改革の基本方針について行財政検討審議会が答申

11月6日、八幡市行財政検討審議会から「第9次行財政改革の基本方針について」の答申を受けました。

審議会は、学識経験者や金融・商工・教育・福祉関係者、市民公募委員など10人で構成され、本年5月から審議を重ねてきました。

答申では、単なる経費削減ではなく、限られた財源や人員を有効に活用し、市民サービスの質と持続可能性を高める改革を求めています。

基本方針の3つの柱

▶スクラップ＆ビルドの推進
事務事業を継続的に検証・見直し、生み出した財源や人員を必要な施策へ振り向けるよう求めます。

▶行政ＤＸの推進
行政手続の利便性向上とデジタル技術による業務効率化を進め、市民サービスの向上につなげるよう求めます。

▶人材マネジメントの推進
職員の能力、経験、専門性や意欲を最大限に生かし、限られた人員で組織力を高める取組を推進するよう求めます。

＊　＊　＊

答申案へのパブリックコメントで寄せられた意見についても審議し、最終的な答申が取りまとめられました。

市では、この答申を踏まえ、令和9年度からの第9次行財政改革に向けて、基本的な考え方や取組の方向性を取りまとめる予定です。

答申の全文は市ホームページに掲載していますので、ご覧ください。



答申後には、出席した委員と市との懇談が行われ、これまでの審議を振り返るとともに、今後の行財政改革の進め方などについて意見が交わされました。

問政策企画課（☎983-1004、ＦＡＸ983-3593）

地域福祉に関する市民アンケートへのご協力のお願い

市と社会福祉協議会が協働して、令和10年度から14年度を計画期間とする「第4次八幡市地域福祉推進計画」の策定を進めています。

そこで、計画策定にあたり市民の皆さんのご意見を伺うため、18歳以上の市民の中から無作為に抽出した2,000人にアンケート調査を実施します。

調査票が届いた人は、12月24日（木）までにアンケートの返信またはオンラインでの回答のご協力をお願いいたします。

問福祉総務課（☎983-1334）、市社会福祉協議会（☎983-4450）